

みらい農業学校の開校について

震災後、除染作業等による作付休止期間が長期に及んだことなどから、本市の基幹的農業従事者は、震災前と比べて約73%減少し、また、農業従事者のうち60歳以上の方が84%を占めており、後継者の確保・育成が課題となっております。一方、本市の農地のうち約45%となる約3,000ヘクタールで農地の大区画化が進んでおり、集約化やスマート農業が進むことにより、効率的な農業経営が期待されます。

地域の農業の持続的な発展のためには、新たな農業人材の確保・育成が非常に重要です。

市では、令和3年9月から、新たな農業人材の確保のためには、「どのような手法が最適か」について検討を重ね、以下の概要で農業学校(農業スクール)を開校することとしました。

農業学校は小高区の旧鳩原幼稚園を改修した施設を活用して運営しますが、農業人材確保は、市全体の課題であり、その課題解消につながる取り組みの一つになると考えています。

※名称は「みらい農業学校」ですが、学校の実態ではなく、市が実施する農業人材育成事業の名称です。

みらい農業学校の概要

1 開校

令和6年4月開校予定 ※市が開設し、委託事業による運営を予定。

2 学校の特徴

南相馬市では、農業法人等への農地集積が進んでおり、農業法人等が将来の農業の担い手となること、また、このような将来の担い手に雇用される形が、卒業生の安定した働き口となり得ることから、学校の特徴を「雇用就農に必要な学び」に設定しました。

全国にも多数の農業学校(スクール・農業塾等)は、ありますが、ほとんどが独立就農を想定したカリキュラムになっており、雇用就農を特徴とした農業学校等は、ほとんどありません。

また、卒業後に地域の農業法人等への就職を促したいことから、在学中から、農業法人等へのインターンやマッチングを行っていく予定です。

3 受講生数

最大15名程度を想定しています。

4 実施場所

旧鳩原幼稚園（小高区南鳩原字西畑76番1）※国の事業を活用して改修します。



5 学校ほ場

旧鳩原幼稚園近隣にほ場を確保予定です。

また、地域の農業法人等での学びも取り入れる予定です。

